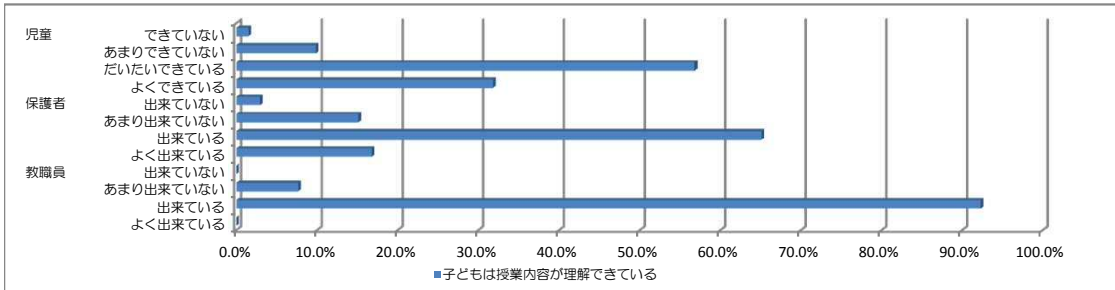


平成26年度 後期 学校評価 アンケート結果のお知らせ

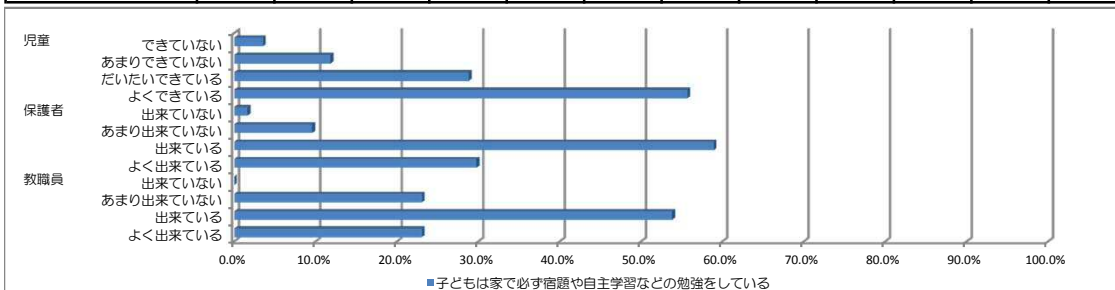
保護者の皆様には御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に御理解・御協力いただき誠にありがとうございます。
先日御協力いただきました後期学校アンケートの結果をお知らせいたします。お忙しい中、アンケートの御協力ありがとうございました。
（「よく出来ている」「出来ている」「だいたいできている」の合計評価を『肯定的評価』, 「出来ていない」「あまり出来ていない」の合計評価を『否定的評価』として表します。）



	教職員				保護者				児童			
	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
授業内容が理解できている	0.0%	92.3%	7.7%	0.0%	16.8%	65.1%	15.1%	3.0%	31.8%	56.8%	9.8%	1.5%

授業内容が理解できている

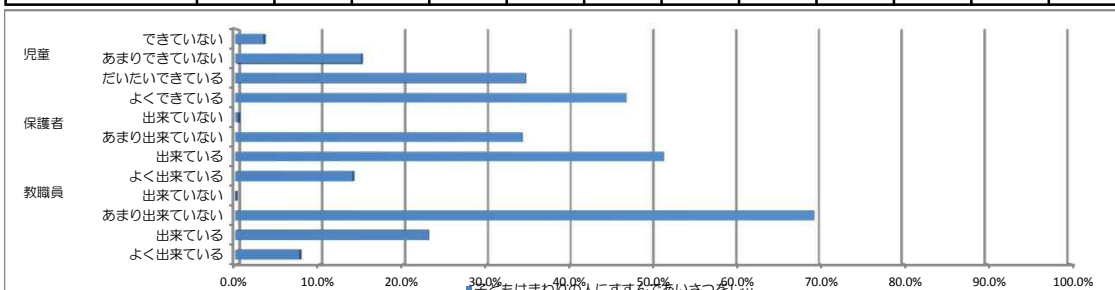
肯定的評価は、児童89%、教職員92%に比べ、保護者は82%と格差が見られ、保護者の方の子どもへの心配や期待、教職員への願いがこの数値に表れていると考えられます。また、否定的評価については、児童が11%と前期の7%から少し上昇し、児童の期待に学校がこたえ切れていないということではないでしょうか。このことは教職員全員がしっかりと受け止め、子どもがわかったといえる授業を目指して、教師の授業力向上、教材研究や授業改善を研修を重ね研鑽を積んでいきます。また、朝・昼の学校全体の学習の時間の徹底など、学校総体で基礎基本の力の向上も目指していきます。



	教職員				保護者				児童			
	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
家で必ず宿題や自主学習などの勉強をしている	23.1%	53.8%	23.1%	0.0%	29.8%	58.9%	9.6%	1.7%	55.7%	28.9%	11.9%	3.6%

家で必ず宿題や自主学習などの勉強をしている

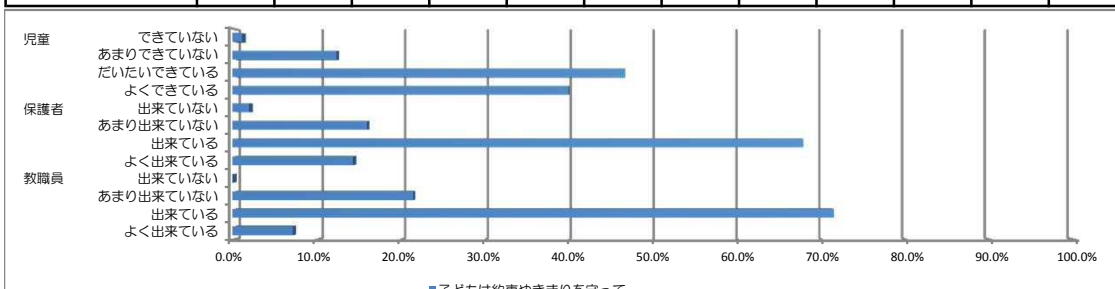
肯定的評価は、児童84%と保護者89%に比べ教職員77%。前期と同様に児童と保護者そして教職員の「家庭学習」についての捉え方に違いが見られました。宿題も自主学習も必ず行うものとし、宿題は学校でなかった学習の復習の意味を持ち、自主学習は子ども自身が課題を設定し、その課題を解決しようとする学習も含めた学習と考えています。家庭学習の習慣が身につくように担任による確かな点検ややる気の出る声かけを継続し、保護者との連携をとり、家庭学習が当たり前になる習慣づけを目指していきます。



	教職員				保護者				児童			
	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
まわりの人にすすんであいさつをしている	7.7%	23.1%	69.2%	0.0%	14.1%	51.3%	34.3%	0.3%	46.8%	34.7%	15.1%	3.4%

まわりの人にすすんであいさつをしている

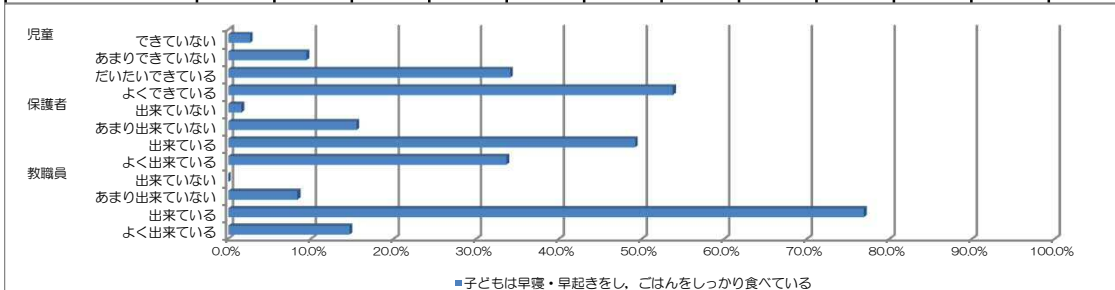
児童の82%があいさつに対して肯定的評価を示していることに対して、教職員は31%と捉え方に大きな違いがみられました。「自分から進んで」という部分や、「おはようございます」「こんにちは」だけでなく、「失礼します」「ありがとうございました」など、自らその場に應じたあいさつを児童に期待しています。このようなあいさつは、学校、家庭、地域の文化が子どもたちの習慣となります。学校でのあいさつ文化の向上と保護者、地域の方々とも協力して、日常生活の中で取組を継続していきます。



	教職員				保護者				児童			
	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
約束やきまりを守っている	7.1%	71.4%	21.4%	0.0%	14.3%	67.8%	16.0%	2.0%	39.9%	46.6%	12.3%	1.1%

約束やきまりを守っている

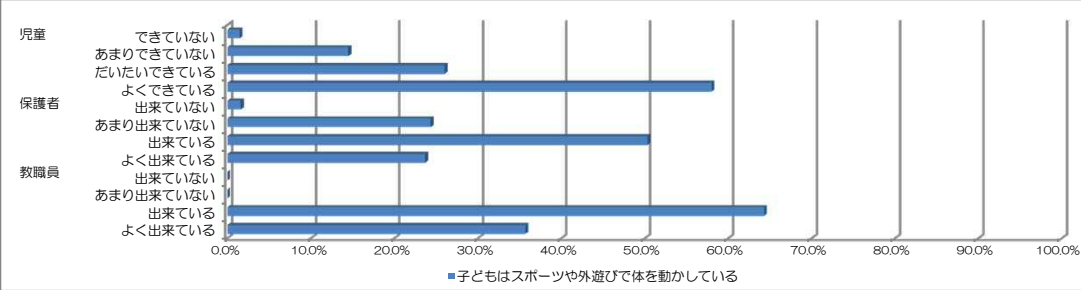
児童・保護者・教職員全ての肯定的評価が高く、約束やきまりを守っていると答えています。宿題や持ち物、クラスで決めた約束や、みんなが気持ちよく過ごせるような学校全体のきまりや社会のルールなど、当たり前のことを当たり前にできることの素晴らしさを伝え、指導しています。もちろん、当たり前にできていることをしっかり評価し、認め、全教職員が同じ思いで指導を継続していきます。また、学校外の姿についても、保護者と地域の方との連携をとり、子どもたちの様子を見守りたいと思います。



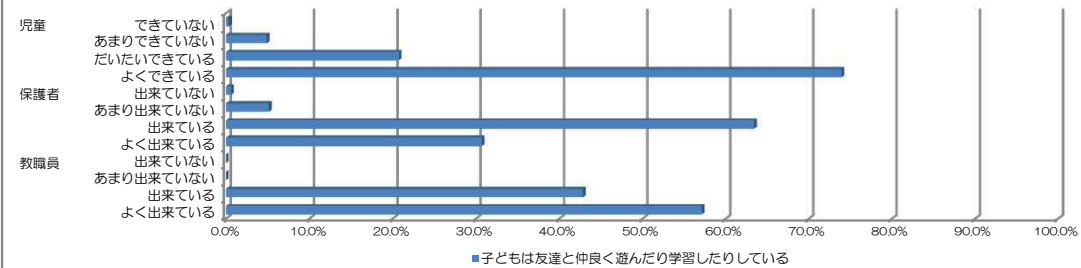
	教職員				保護者				児童			
	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
早寝・早起きをし、ごはんをしっかり食べている	14.7%	76.9%	8.4%	0.0%	33.7%	49.2%	15.5%	1.6%	53.8%	34.1%	9.5%	2.7%

早寝・早起き・朝ごはんをしっかり食べている

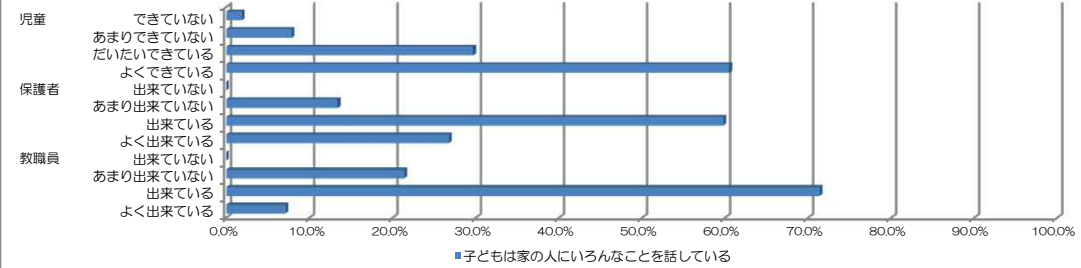
基本的な生活習慣については、家庭との連携が不可欠です。朝から元気にあいさつする、宿題を忘れずやってくる、元気に外で遊ぶ、授業中集中して学習するなど、子どもたちの全ての行動は規則正しい生活リズムからなるものです。42%の児童が10時以降に寝ており、高学年では12時以降に就寝する児童もいました。やはり早起き、朝ごはんへも影響しています。早寝が一番のポイントと言えます。また、大切な思春期の成長に大きく影響を及ぼします。保健室やキズナ学習での指導のほか、これからも保健だよりや給食便りを通して基本的生活習慣の大切さを伝えていきます。御家庭でもよりよい生活習慣が身につくよう御協力をお願いします。



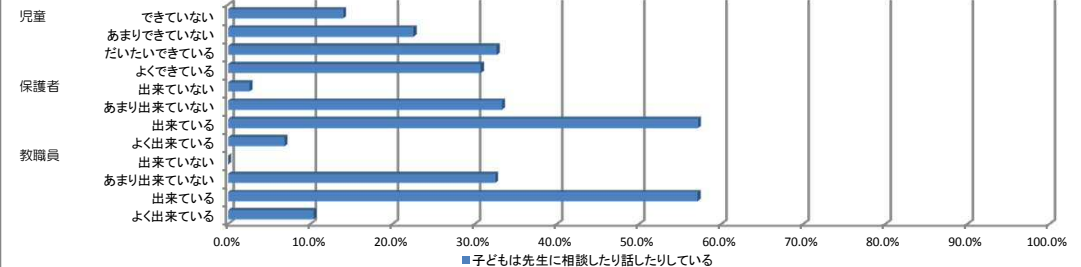
	教職員				保護者				児童			
	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
スポーツや外遊びで体を動かしている	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%	23.7%	50.3%	24.4%	1.6%	58.0%	26.0%	14.5%	1.5%



	教職員				保護者				児童			
	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
友達と仲良く遊んだり学習したりしている	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	30.7%	63.4%	5.2%	0.6%	74.0%	20.8%	4.9%	0.4%



	教職員				保護者				児童			
	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
家の人にいろんなことを話している	7.1%	71.4%	21.4%	0.0%	26.8%	59.8%	13.4%	0.0%	60.5%	29.7%	7.9%	1.9%



	教職員				保護者				児童			
	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よく出来ている	出来ている	あまり出来ていない	できていない	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
先生に相談したり話したりしている	10.4%	57.1%	32.5%	0.0%	6.9%	57.2%	33.3%	2.6%	30.7%	32.7%	22.6%	14.0%

スポーツや外遊びで体を動かしている

児童・教職員ともに肯定的で、外で体を動かしていると答えています。朝、中間、昼の休み時間はボール遊びを中心に、ブランコや遊具、鬼ごっこなどいつも運動場は子どもたちであふれかえっています。担任が声かけしたり共に遊んだり、また全校の朝ランニングが外に積極的に出るきっかけになっているようです。さらに、3～6年生の7割を超える児童がSOC（運動系）に入り活動しています。ただ、最近は公園でボール遊びを禁止していることや安全面から、下校後外で遊ぶことが少なくなっていると思います。学校で積極的に外で体を動かす環境作りに取り組んでいきたいと思います。

友達と仲良く遊んだり学習したりしている

児童・保護者ともに肯定的評価が94％と前期同様に高い数値で、大変うれしいことです。人権教育を中心に据え、全ての学校生活の中で、「つながり」の大切さを子どもたちに伝えてきています。ただ、6％の児童、保護者が「あまりできていない」と答えておられ、これを見逃すことはできません。否定的に捉えている子どもにとっては、とても大きな問題です。毎日の子どもの表情や言動の変化を見逃さず、子どものおかれている状況や背景をくみ取り、「つながり」がもてる環境作りをしていきます。また、6％の児童の原因を探り、子どもが楽しく安心して生活できるよう今後も努力を続けていきます。気になることがあれば、まず、担任に御相談ください。

家の人にいろんなことを話している

「よくできている」と答えた児童60％に対して保護者は半分以下の27％と捉え方に違いが見られます。保護者は子どものことが知りたいという願いと学習や友達関係など不安を持たれているのではないのでしょうか。しかし、「出来ている」を含む肯定的評価は、児童90％、保護者87％と高く、忙しい日常の中でも共に過ごす時間を大切にいただいていることを嬉しく思います。今後も、より学校のことを話題に、また話のきっかけにさせていただきまよう学校だよりやHP、学級だよりなどで子どもたちの様子をお伝えしていきます。

先生に相談したり話したりしている

ほかの項目に比べ児童・保護者・教職員ともに肯定的評価、特に「よく出来ている」が極端に低い状況です。授業の理解、宿題や自主学習の様子、あいさつや約束・きまりについての児童の肯定的評価の高さから、特に相談がないと考えている児童が多いのであれば問題はないのですが、学校としては、安心して話ができる環境づくりを目指します。これまでと変わることなく、担任に関わらず、クラス外の委員会やクラブ、SOCや登校班など、教職員全員が一つとなり、子どもたちに寄り添い、気軽に話せる立場でいられるよう取り組んでいきます。

自由記述欄より（紙面の都合により一部しか掲載できませんが、いただきました全ての御意見は教職員全員で共有しております。）

- 外遊びが不安な世の中になっています。学校での放課後の残り遊びは体を動かせ、他学年との交流もありとてもありがたいです。
- 学校により、学年・学級によりは、学校生活の様子や連絡事項が細かくわかって嬉しいです。
- また、保健だよりや給食だよりも子育てで気付けられることが知れてよかったです。
- 学年全員の「顔」「名前」がわかる学校の規模で、先生方が温かく、子どもたちから話しかけやすい環境を作っていただき、ありがとうございます。
- 参観日や見学できる学校行事がたくさんあり、また「たけのこだより（学校だより）」などからも、子どもたちの様子を垣間見ることができました。
- 子どもがスクスク育っていると思います。楽しく学校に登校できているのも先生方のおかげだと感謝しています。
- 自分の思いを相手に伝える力をもっとつけてほしいです。
- 悪いことは厳しく叱ってください。指導が甘いと思います。
- 昨年のアンケートにもあった「学年によってホームページの更新頻度が違う」について、今年も同様に感じました。
- 中学年から特に女子がどんどん難しくなる年頃です。グループができたり、意見の食い違いも増えると思います。
- 子ども同士ではまだまだ解決できないことがあります。先生が中に入り解決できるよう助言していただきたいと思います。
- 自主学習ノートの返却が遅く困ることがあります。先生の諸事情もあるかと思いますが、それにより子どもがしなくなったという話も聞いたことがあります。
- 自主学習について改善していただければと思います。
- 大文字駅伝についての練習が少なかったように思います。その中でも頑張ってくれた子どもたちに感謝しています。先生方もありがとうございました。
- 職員室へ行ったときの先生方の態度が気になります。
- 誰も対応されない。子どもが名前、用事を言うまで数人の先生が笑われていたのは、子どもが傷つくと思います。
- 校内の整理整頓が足りないように思います。廊下の飼育・生き物の水槽やカゴが汚れているのに、そのままにされているように思います。

*皆さまからいただいたアンケートの評価や自由記述の御意見や御指摘を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしていきたいと思います。